

令和5年4月27日

本市への移住者が過去最多を更新！ ～福島市は、もっと選ばれるまちを目指します～

令和4年度における本市への移住者数は373人で、前年度に比べ119人（約1.5倍）の増加となり、過去最多を更新しました。

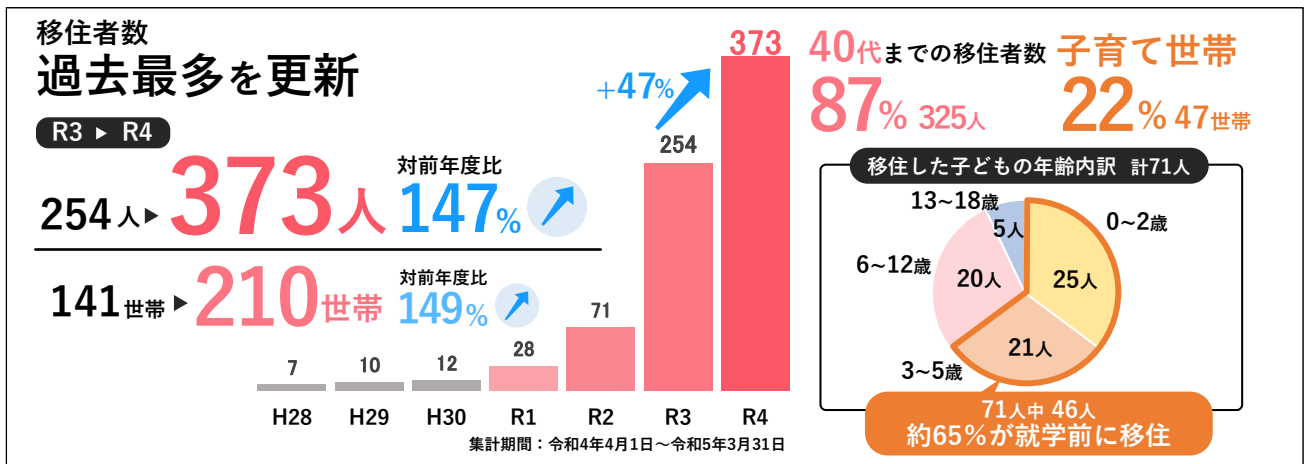
40代までの若者や子育て世帯の移住者が325人と全体の87%、特に、子どもの就学前に移住する傾向がみられます。

令和5年度は、ふくしまスタイルな暮らしを提案しながら、全市挙げての支援で本市定住を促進し、もっと選ばれるまちを目指してまいります。

記

1. 移住者数の推移

令和4年度移住者数 373人（前年度比約1.5倍）



2. 移住者を呼び込む施策

本市で住み続けるために、様々なサポートを充実することで移住・定住への後押しをします。

(1) 支援の充実

- ・新婚世帯への住居費の補助の制限緩和
※夫婦所得制限の緩和、賃貸住宅スタートアップ支援は所得制限を撤廃。
- ・第2子以降の保育料サポート
- ・東京圏に在住・通勤の方への移住支援金の拡充
「単身60万円」、「二人以上の世帯100万円+子育て加算100万円/人」
※18歳未満の子育て加算額を1人当たり30万円から100万円に拡大
- ・特色ある幼児教育・保育の実施施設の拡大
- ・新婚・子育て世帯向け市営住宅の充実

(2) 移住コーディネーターによるサポート

- ・移住相談、仕事・住居等のマッチング
- ・移住者交流会等のイベント実施等移住後のフォローアップ

担当：定住交流課 出会い定住応援係
課長 近藤 課長補佐 赤間
電話 024-572-5451（直通）



#ふくしま
スタイル

Rediscover color, Fukushima Style

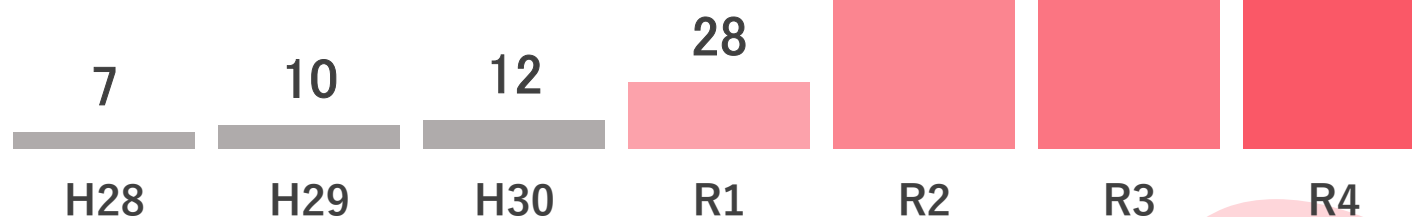
移住者数

過去最多を更新

R3 ▶ R4

254人 ▶ **373人** 対前年度比 **147%** 

141世帯 ▶ **210世帯** 対前年度比 **149%** 



集計期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

移住者数

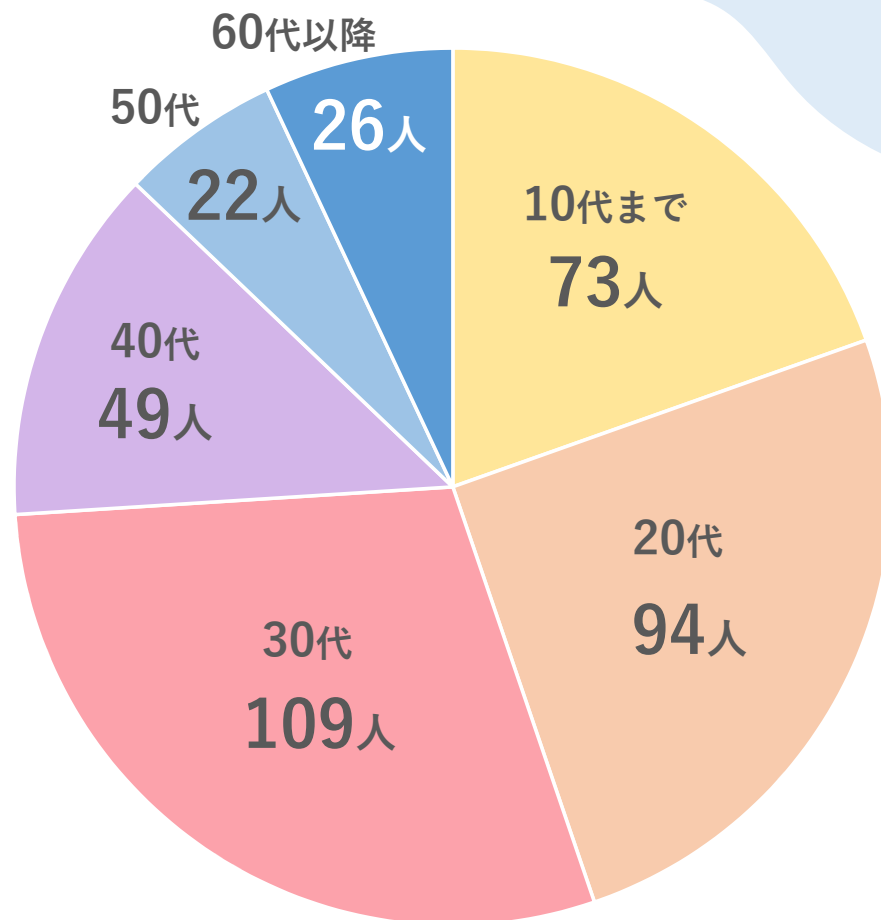
過去最多を更新

30代までの移住者数

74% 276人

40代までの移住者数

87% 325人



年代別の移住者数内訳

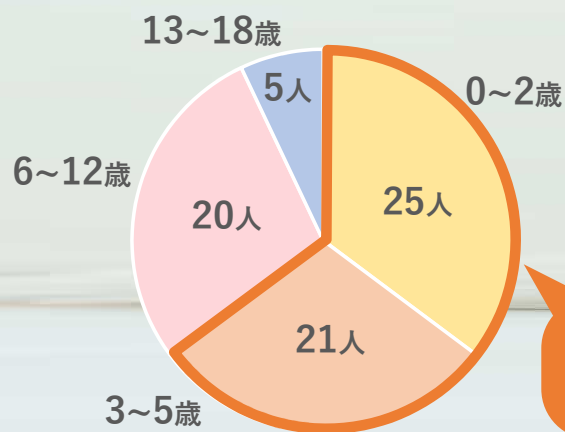
子育て世帯の移住

移住世帯

210世帯のうち

子育て世帯※
47世帯 **22%**

移住した子どもの年齢内訳 計71人



71人中 46人
約65%が就学前に移住

※18歳以下の子がいる世帯



若者世代の移住

20歳以上の移住者 **300**人のうち

20~30代の単身・夫婦

68% 203人

————— 移住して起業された方も (起業予定も含む) —————



クリニック



訪問看護



映像制作



飲食店



民泊
/ゲストハウス



コンサルティング

移住者を呼び込む施策

新婚向け住宅補助

初期費用

所得制限
なし

15万円

家賃

最長
24カ月

月額 2万円

購入・リフォーム

30万円

第2子以降の 保育料サポート

保育施設の保育料

第2子 半額
第3子以降 無料

放課後児童クラブ利用料

第2子 2,000円減額
第3子以降 4,000円減額

東京圏からの移住 移住支援金

2人以上のご家族

100万円

さらに

18歳未満の子どもと
一緒に移住

子ども
1人につき

100万円

子育てするなら福島市

特色のある 幼児教育・保育

野菜作り

カエルを捕まえる

田植え・稲刈り

どろんこ遊び

楽しみながら
英語を学ぶ

いかにんじん作り

和太鼓の演技

プロのコーチに
教わる体の動かし方



令和5年度
実施施設を拡大

新しい公営住宅のカタチ

ふくしま☆スタイル 住宅整備

🏠 Point 1

1F 単身世帯向け
2F 新婚・子育て世帯向け

新築住宅

🏠 Point 2

入居者が自由にアレンジ

DIY住宅

🏠 Point 3

民間企業とコラボ

リノベーション住宅



「ここに住みたい」 魅力的な市営住宅へ

画像はすべてイメージ

きめ細やかな
移住支援

まったく新しい
公営住宅

ポストコロナ
時代の創業支援

充実した
子育てサポート

ふくしまスタイルな
暮らしをご提案

災害に強い
まちづくり

質の高い教育

デジタルで
豊かな暮らし

福島市は、もっと選ばれるまちへ



#ふくしま
スタイル

Rediscover color, Fukushima Style